



2月28日、中央公民館で第8回目の「道徳のまち笠松」のつどいを開催しました。

会場には、活動紹介パネルや第2回“かさまついいね”写真展の全応募作品(一般の部と児童・生徒の部を合わせて87点)を展示し、多くの方にご覧いただきました。

第1部では、ボランティア・スピリット賞を受賞した笠松中学校生徒会と岐阜工業高等学校化学研究部の活動紹介、写真展入賞者の表彰を行いました。

第2部では、カレーハウスCoCo壱番屋の創業者、宗次徳二さんが「人生を成功に導く5つの実践」を講演されました。宗次さんから「早起き・掃除・花を育てる(奉仕)・クラシック音楽を聴く・寄付をする」

5つの実践を的確に教えていただきました。

会場につめかけた皆さんは、宗次さんのすてきな話術に引き込まれ笑いながらも聞きほれ、早起きや笑顔、ボランティアなどの大切さを再認識されていました。

つどい後のアンケートには、「気持ちだけでなく、行動に移すことの大切さを学んだ」「さっそく今日、できることから実践したい」などの感想が寄せられました。



宗次 徳二氏の講演



笠松中学校生徒会のボランティア活動の発表

かさまつの民話「昔むかし」

かせくり ④

機屋の門をくぐり庭へ出ると、みんなが忙しそうに働いていた。ふさは、キヨロキヨロあたりを見まわしていたが、大きな反物を運んでいる機屋の主人を見つけると、

「おじさん、杵を持ってきまして、よびとめた。主人は、ちらつとふさを見て、

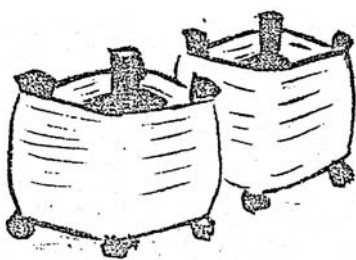
「あ、そうかな。ちょっと待ってなさい。」

と答えると、家の奥の方に向かって、

「おい、新しい糸を渡してやってくれ。」

と言うと、また行ってしまった。まもなく、おかみさんが、帳面とかせ糸を三まる(かせ糸の三束)ほど持って来て、帳面にでき高を記入した。そして、

「しあさってまでに仕上げを持ってくるんだよ。」



と言った、ふさに糸を手渡した。

機屋を出たふさは、堤防を家へと急いだ。藤掛の家並みはずれると、雪まじりの西風が、まともに顔をたたきつけた。前方には、養老の山々が黒く横たわっていた。

その晩、夕食を終え、いつものようにかせくりをしていたふさの耳に、小声で語りあう父母の声が聞こえてきた。